

1 イニング中の出塁数の期待値の計算の仕方

(前提)

p を出塁確率とする。

1イニングにB人出塁する確率 $= {}_{B+2}C_2 p^B (1-p)^3$

出塁数平均 = (B×B人出塁する確率)の合計 $= \sum_{B=0}^{\infty} B {}_{B+2}C_2 p^B (1-p)^3$

(計算の方針)

$E[r^X] = (r^{1 \text{イニング中の出塁数}})$ の期待値が計算できたとしよう。これを、確率母関数と呼び、r の関数として $G(r)$ とかこう。

$G(r)$ を r で微分する。 $G'(r) = E\left[\frac{d}{dr} r^X\right] = E[Xr^{X-1}]$ 。

r に 1 を代入すると、 $G'(1) = E[X \cdot 1^{X-1}] = E[X]$ 。つまり、確率母関数を r について 1 回微分すると期待値 (ここでは、1 イニングの出塁数の期待値) が計算できる。

(確率母関数を計算する)

1 イニングあたりの出塁数に関する確率をすべて合計すれば、全ての事象の確率合計は必ず 1 になるので、 $\sum_{B=0}^{\infty} {}_{B+2}C_2 p^B (1-p)^3 = 1$ 。したがって、 $\sum_{B=0}^{\infty} {}_{B+2}C_2 p^B = 1/(1-p)^3$ 。この式は、p が出塁確率だけではなく、もっと一般的な数でも当てはまるので、p のかわりに

を用いて $f(\alpha) = \sum_{B=0}^{\infty} {}_{B+2}C_2 \alpha^B = 1/(1-\alpha)^3$ と書いておこう。

$G(r) = E[r^X] = (r^{1 \text{イニング中の出塁数}})$ の期待値 $= \sum_{B=0}^{\infty} r^B {}_{B+2}C_2 p^B (1-p)^3$

$$= (1-p)^3 \sum_{B=0}^{\infty} {}_{B+2}C_2 (rp)^B = (1-p)^3 f(rp) = (1-p)^3 / (1-rp)^3$$

(1 イニング中の出塁数の期待値の計算)

$$G'(r) = \frac{d}{dr} \left\{ \frac{(1-p)^3}{(1-rp)^3} \right\} = (1-p)^3 \frac{d}{dr} \left\{ \frac{1}{(1-rp)^3} \right\} = (1-p)^3 \frac{3p}{(1-rp)^4} = \frac{3p(1-p)^3}{(1-rp)^4}$$

$$E[X] = G'(1) = \frac{3p(1-p)^3}{(1-1 \cdot p)^4} = \frac{3p}{1-p}$$